



平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。
(ローマの信徒への手紙14章19節)

Let us pursue the things which make for peace and the things by which one may edify another. (Romans 14:19)

“Strive to discipline yourself and be a helpful, caring person.”



互いの向上に役立つことを

平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。

—ローマの信徒への手紙14章19節—

九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝



「人間とは精神である」というのは、19世紀のデンマークの哲学者S. キルケゴールの言葉ですが、人が生きるということはその精神に基づく言動活動を行うということですから、私たちは、自分のひとつひとつ

の言動に注意すべきだと言われます。自分の言動によって、私たちは立ちもし、倒れもします。

その言動について、新約聖書のパウロは「平和やお互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか」と勧めます。世の中には、ずいぶんと酷いことやつまらないこともたくさんありますし、人からの非難や攻撃を受けることもあります。目には目をの循環を断ち切って、私たちは「お互いの向上に役立つことを」追い求めましよう勧めます。ただ、その際、「何が本当に向上に役立つのか」ということをよく吟味する必要があります。ともすれば独り善がりの「正しさ」を振り回し、すべてを損なうことがあるからです。

九州学院は、震災からの「創造的復興」の歩みを続けており、今年もたくさんの新入生を迎えることができましたが、その日々が「お互いの向上に役立つことを追い求める」日々であれば、と思います。学院に繋がるすべての人々にとって、この年が、そういう日々となるよう祈ります。

3月に行われた全国高等学校選抜大会で、九州学院高校が2競技において連覇達成の快挙を成し遂げました。



自転車競技部(2連覇!)



剣道部(6連覇!)

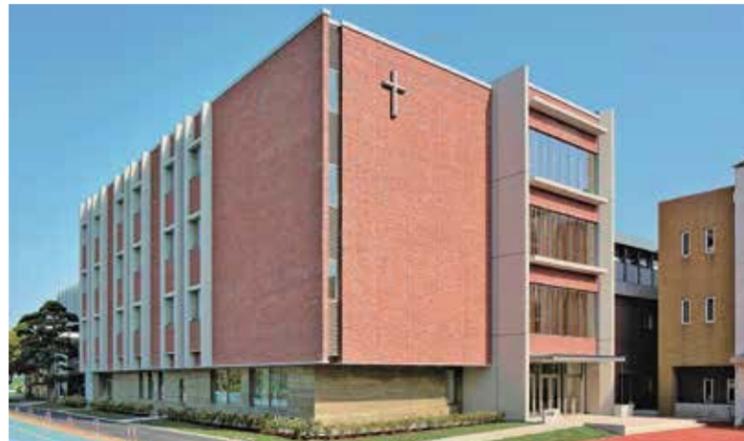
3月28日(水)、春日井市総合体育館で行われた「第27回全国高等学校剣道選抜大会」では九州学院高校剣道部が前人未踏の男子6連覇(10度目の優勝)を飾りました。今大会は僅差での勝利が多くあり、3回戦(対磐田東高校)では劣勢を迎えた大将戦を重黒木祐介選手が逆転の2本先取

創造的復興へ前進!

新4号館(中学校舎)竣工

～「創立110周年 震災復興特別募金」へご協力をお願いします～

4月6日(金)、4号館玄関前で「九州学院4号館耐震改築工事竣工式」が執り行われました。竣工式には設計事務所、建築会社、来賓、学院関係者など約30人が列席しました。式は礼拝の形式で行われ、小副川幸孝チャプレンによる「新しい革袋」と題した説教の後、聖別と祝福のときがもたれました。その後、長岡立一郎九州学院理事長および設計・工事関係者挨拶と感謝状・記念品贈呈が行われました。



九州学院は「創造的復興」の歩みを続けており、新4号館竣工はその象徴の一端となります。3年後の創立百十周年に向け、学院は現在「震災復興特別募金」を皆さまにお願いしています。募金趣意書や学院ウェブサイトをご覧くださいませ。本募金へのご理解とご支援をお願いします。

祝賀本!

剣道部

全国高校選抜(男子団体)6連覇!

自転車競技部

全国高校選抜(男子学校対抗)2連覇!

他競技でも「第40回全国高等学校柔道選手権大会」男子81kg級の赤星遼太郎選手と「第37回全国高等学校空手道選抜大会」女子個人組手53kg級の寺川萌香選手がそれぞれ3位入賞を挙げた。また、多くの競技で九州学院中高生が全国の舞台で健闘しました。今後の全国大会でもますますの活躍が期待されています。

で勝利するなど、接戦を落とさない強さが光りました。島原高校との決勝戦でも、延長までもつれた代表戦を制しての粘り勝ちで優勝旗を守り抜くことができました。

時は満ちた

九州学院 院長 阿部 英樹



「あの時にあの人が出会えたからこそ、今の自分がある」と、思うことがあります。「あの人と出会うことがなかったら、まったく違う人生を歩んでいたろう」と思うこともあります。

あの時の出来事は「私にとって特別に意味のあることだった」と、感謝の思いで語ることができるのは幸せなことだと思います。その出来事が人生の転機となっただけではなく、心の中に生き続けて日々の営みの中で大きな支えになるからです。

新約聖書の原典には、ギリシャ語で「時」を表す言葉が二つ出てきます。クロノスは、いわば時計で計る私たちが普通に用いる時のことであり、他方カイロスは、その人にとって「特別な意味を持つ時」や「主観的な時」であり、また、「目には見えないけれども、神よりの決定的な働きがなされる時」です。

聖書(マルコによる福音書15章15節)によると、イエスの活動の第一声は、「時は満ちた」でした。ここの「時」は「カイロス」です。イエスの言葉を聞いた人が、その言葉を信じて受け入れることで、その人の人生に決定的に重要な意味をもたらす時が訪れるという意味で使われたのです。

私は、自分にとって特別な意味を持つ「カイロス」を、九州学院の生徒である時に経験した者の一人です。九州学院とイエスとの出会いが、私にとってはまさに「時は満ちた」といえる出来事でした。そしてそのことは、すべての人に同じように起こる出来事であると信じています。

私たちの九州学院は、「時は満ちた」と言われたイエスを拠り所として建てられ、創立以来107年の歴史を刻んできました。学院に連なる一人一人にとって、この学び舎での教育と出会いの時が、単なる「クロノス」の時ではなく、その後の人生において「カイロス」の時として刻み込まれて、かけがえのない経験となることを願っています。

本学院は、今春から4年間に亘って創立110周年震災復興特別募金活動をさせていただいております。その一環として6月18日、県立劇場にてオール九州で奏でる特別イベントがあります。九州の歴史で初めてのことです。このために、多くの皆様にご出演や出演、プログラムのご協力をお願いいたします。心から感謝いたします。なお今後とも、九州学院へのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願いたします。

2018 育友会総会を開催 全提出議案を承認

5月26日(土)、九州学院プラウン・メモリアル・チャペルにおいて2018年度育友会総会が開催されました。会場には多くの保護者が出席し、平成29年度行事報告、同決算・監査報告、平成30年度行事予定案、同予算案、同新役員人事案のすべての提出議案が承認されました。渡辺男子会長は前期に引き続き3期目の育友会会長就任となりました。

総会終了後には教室

退職 教職員異動

脇田 祐喜(英語)



聖書 難波 信義
国語 岩越 優子
社会 岩崎 晴海
数学 吉田 律子
数学 谷永 朋未
理科 萩峯 健吾
英語 松林 深
美術 池田 邦雄
事務 本谷 麻子
幼稚園 山中 久美

新任

国語 内山 智美
国語 井上 理絵
数学 堤 耕二
数学 有働 遥香
理科 田尻 健将
理科 上村 泰徳
情報 三岳 柁智
英語 齋藤 幸子
英語 岩谷 弥央
美術 戸塚 智子
事務 根間 千明
幼稚園 松田正二郎
幼稚園 吉田由紀乃
幼稚園 永野奈奈絵
幼稚園 濱川 美香

高校 第70回卒業証書授与式を挙行

3月1日(木)、総合体育館において九州学院高等学校第70回卒業証書授与式が挙行され、335人が学び舎からそれぞれの進路へと旅立ちました。式場には生徒、保護者、来賓、教職員、同窓生など千人を超える列席者が集い、節目を迎える厳粛な式典に臨みました。

証書授与では担任が卒業生の名前を一人ずつ読み上げ、代表生徒に阿部校長から卒業証書が授与されました。

続いて賞状授与、特別表彰、校長訓辞などが行われた後、祝辞が



山崎同窓会会長と渡辺育友会会長から卒業生一同に贈られました。来賓紹介の後、在校生を代表して有吉生徒会長が送辞を述べ、校歌斉唱をはさんで吉永前生徒会長が卒業生を代表して感動的な答辞を読み上げました。

閉式後、退場曲が流れるなか式場から出て行く卒業生の表情は、笑顔に満ちていました。その後、生徒たちは保護者とともに各教室で最後のホームルームに臨みました。終了後も教室や廊下などには祝福や歓喜の音が満ちあふれていました。

また、卒業式には多くの来賓のほか、恒例となっている卒業後50年(S20回)および卒業後30年(40回)の同窓生も列席され、感慨深げに校歌や讃美歌を斉唱されていました。

中高 新たに461人が仲間入り

4月10日(火)、2018年度九州学院中高一学式が総合体育館で挙行されました。式には新入生(高校356人、中学校105人)と保護者、来賓、教職員が多数列席し、新たな九学ファミリー誕生の瞬間を見守りました。

式はキリスト教形式で進行し、小副川チャレン(学校付牧師)の聖書朗読、祈祷が開式の辞に引き続いて行われました。その後、阿部校長の式辞、山崎同窓会会長と渡辺育友会会長の祝辞、有吉高校長が新入生による歓迎の挨拶が新入生一同に贈られました。

新入生を代表して中学校は西谷弥生さん、高校は永田奏平くんがそれぞれ誓いの言葉を述べました。

この入学式をもって新入生は正式に入学を許可され、晴れて九州学院生徒の一員となりました。閉式後、各教室では担任と生徒が保護者参観のもと、学級開きが行われました。

節目の行事を無事に終えた新入生の表情は、この日から始まる九学での生活に向けた決意が感じられる引き締まったものでした。

九州学院中高には多くの兄弟姉妹が同年度に在学しており、今年度は77組157人で、親子できょうだいで学院の精神が継承されていることは、本校の特色の一つです。



高1・2年 研修旅行を実施

3月3日(土)~6日(火)に高校一年生351人が、3月4日(日)~7日(木)に高校二年生(特技・準特技クラスは2019年1月に実施)265人が、それぞれスキーおよび東京方面での研修旅行に参加しました。2017年度より実施学年を一年生に変更したことにより2学年ほぼ同時期の研修旅行となりました。

一年生は長野県で、二年生は群馬県でスキー研修を行い、インストラクターの指導の下、短期間のうちにスキー技術を上達させることができました。

東京都内および周辺での研修では、見識を深めたりなかまとの楽しい時間を過ごしたりすることができ、たいへん充実した研修旅行となりました。



《体育祭》9月8日(土)(予備日:10日(月)) 《九学祭(一般公開)》10月27日(土)

2017(平成29)年度 事業活動収支計算書

(単位:百万円)

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒納付金	735	人件費	852
手数料	12	経費	484
寄付金	37	(内、減価償却)	132
経常費等補助金	472	徴収不能額等	0
付随事業収入	0		
雑収入	12		
教育活動収入計	1,268	事業活動支出計	1,336
教育活動収支差額			△68
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
受取利息・配当金	0	借入金利息等	7
その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動外収入計	0	教育活動外支出計	7
教育活動外収支差額			△7
経常収支差額			△75
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
資産売却差額	0	資産処分差額	0
その他の特別収入	156	その他の特別支出	0
特別収入計	156	特別支出計	0
特別収支差額			156
基本金組入前当年度収支差額			80
基本金組入額合計			0
当年度収支差額			80
前年度繰越収支差額			△2,005
基本金取崩額			116
翌年度繰越収支差額			△1,809
(参考)			
事業活動収入計	1,423		
事業活動支出計		1,343	

特進コース「アクティビティ」 1・2年合同で講演会と交流会

昨年度スタートした「ニュー特進コース」では、さまざまな企画を提供しています。

5月1日(火)、青年海外協力隊員(理数科教師)としてアフリカのザンビアで2年間活動された山崎英重ク



多くの選択肢と道があ

あります。ですから、今いるこの時間と環境の中で一生懸命頑張ってください」と、熱い(両企画とも希望制)

高1泊研修会 他学年は親睦会

4月13日(金)・14日(土)、高校1年生は阿蘇市で一泊研修会を実施しました。この研修は九州学院で身につけるべきマナーやルールの理解徹底、また親睦を深めることを目的に例年この時期に行っているものです。研修では院長・チャプレン講話や生活指導(校則理解)、校歌練習などの全体研修に加え、クラス懇親会やユメタン祭り(英単語クラスマッチ)などを行い、充実した2日間を共にしました。

また、新年度最初の土曜登校日となった4月14日(土)は、中高各学年で親睦会を開催しました。高校3年生および中学2・3年生は校内3ヶ所にある体育館・アリーナでクラスマッチ形式でのスポーツ・レクリエーションを、高校2年生は熊本市動植物園で学年懇親会を、中学1年生は3号館ホールで自己紹介スタンプラリーをそれぞれ実施しました。どの会場でも生徒たちは同級生や学年教職員と歓声をあげながら、楽しいひとときを過ごしていました。

4月16日(月)からは全学年が普通授業となり、親睦を深めた級友と助け合いながら新学年での学びに励んでいます。



5月18日(金)には江津湖畔にてパーベキューを開催して、学年間を越えた交流の時をもちました。食事をしながら班ごとに1年生は2年生に質問や相談を行い、2年生は先輩としてのアドバイスを送るなど、楽しく有意義な時間を過ごしました。

「2018年度の進路状況について」

進路指導部長 谷口 象二郎

今年度の四年制大学の合格者数は、国公立大21名(うち現役16名:東北(理)、筑波(体育)、東京海洋(海洋自然環境)、長崎(経)、熊本3(法、文、薬)、大分(教育)、鹿屋体育(体)、熊本県立7(総合管理6、環境共生)、過年度卒5名:九州3(工2、経)、九州工業(工)、熊本(理))、私立大283名(うち現役一般入試48名:青山学院、日本、皇學館、立命館、神戸女学院、久留米、西南女学院、福岡7、福岡女学院、九州看護福祉、九州ルーテル学院4、熊本学園6、熊本保健科学3、崇城15、尚綱、平成音楽、西九州、別府、AO入試21名、公募推薦入試20名、スポーツ推薦入試37名、指定校推薦入試合計135名(うち同志社大5、福岡大17、熊本学園24))でした。また、短期大学9名、専修・各種学校42名が合格しています。その他、就職内定者17名(公務員6、自衛隊5、一般企業5、家業手伝)、海外留学3名(アメリカ2、ニュージーランド)となっています。

今春卒業生335名の進路決定状況は、四年制大学74.9%(前年比+0.3%)、短期大学2.1%(+0.1%)、専修・各種学校11.9%(+0.3%)、就職4.2%(+1.4%)、海外進学等0.9%+0.3%、予備校等(受験準備)6.4%(+0.9%)でした。今年度は県内進学者が増加し、熊本県内への進学者は32.9%と昨年より7.6%増、県外進学者のうち関東には29.6%(昨年32.6%)、関西には10.0%(昨年12.0%)、福岡には20.3%(昨年20.3%)が進学しました。

今年度も昨年同様、現役で東北大学(理・物理)など超難関校に合格した人がいました。ここ数年、東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学などの難関国立大学への現役合格者が出ていることはすばらしいことですが、今年はこれに東北大学が加わったこととなります。また、昨年同様、国公立大学に21名(現役合格16名、昨年は22名)が合格しています。

指定校推薦については、今年度も160(昨年は158)もの4年制大学から推薦依頼が寄せられ、同志社大から21名、福岡大からは2名増加して19名、熊本学園大との高大接続特別入試制度により50名の枠をいただいたことも特筆すべきことです。進路指導部としては、このような連携関係を大切にするとともに、進路先で充実した学業生活を送れるように、日頃の基礎学力の向上についても、一層の指導と支援を強めていきたいと考えています。



認定こども園九州学院みどり幼稚園園長 松田正二郎
新しい学期が始まりました。例年のように、「英語であそぼう」「運動あそび」が始まりました。

九州学院みどり幼稚園
笑顔あふれる幼稚園を目指して

「英語であそぼう」は、九州学院中高の4人のALTの先生方が毎週火曜日に園に来て英語を指導する時間です。園児の年齢に合わせて、時間やカリキュラムを工夫し、挨拶の仕方や尋ね方などの簡単な会話を様々な物の名前などを織り交ぜながら学び、楽しむ時間です。園児は、遊びながら自然と英語に親しんでいるようです。「運動あそび」も同じく、九州学院中高の体育の宮本先生が毎週水曜日、園で園児の体力と運動能力の向上を目指して指導していただいています。園児は、毎週大変楽しみにしていて、はじけるような笑顔で参加しています。他にも、九州学院みどり幼稚園FCとして毎週1回、本園の内田先生たちが、広々とした九州学院グラウンドを使わせていただき、キッズサッカーの指導をしています。男女を問わずたくさんの園児が参加し、保護者の応援を受けながらはつらつとプレーし、楽しんでいるようです。日頃の園児に対する教育や保育の充実はもちろん大切な要素ですが、それに加えて「より子どもが笑顔になれる」ように、みどり幼稚園ならではの特色を取り入れ、また先生方の専門的な力を生かしてより高度な指導をすることで、子どもたちひいては保護者の笑顔をあふれさせられるのだと信じています。

九中
コーナー

九中生98名が
新たな旅路へ



第71回九州学院中学校卒業証書授与式が3月10日(土)、プラウン・メモリアルチャペルにおいて挙行され、98名が母校を旅立ちました。阿部院長より卒業証書を授与された卒業生は、卒業式後、最後のホームルームが行われ、各担任からは一人ひとりへのコメントが贈られ、卒業生からは保護者への感謝の手紙が読まれるなど、涙と笑顔が入り交じる温かいひとときがもたれました。この卒業ホームルームは新校舎の各教室で行われ、2017年度の卒業生が新校舎から旅立つ記念すべき最初の卒業生となりました。卒業記念品として頂戴したスタンドグラスは、新校舎1階に飾つてあります。卒業生98名をオリーブの葉98枚に見立てた大変素敵なものです。お越しの際は、ぜひご覧ください。



3月7日(水)に仮設校舎からの引越しを終え、待ちに待った新校舎での学校生活がスタートしました。ピカピカの校舎に生徒一同歓喜の声を上げ、心はずむ様子が伝わってきました。翌8日と9日には3年生(現高校1年生)が体育館の使い初めをしました。レクリエーションは大いに盛り上がり、元気な声が廊下まで響いていました。4月9日(月)には新校舎で新学期がスタートしました。新しいクラスや環境に緊張した面持ちながらも、

生は、3年間の中学校生活に思いを馳せながらたくさんの激励の言葉をかみしめ、在校生と共に讃美歌461番(主われを愛す)を日本語と英語で合唱しました。式の途中は、溢れる涙をこらえきれない生徒もおり、厳かな中にも感謝と喜びに満ちた式典となりました。チャペルを後にする際には、卒業生の新しい門出を祝福しているかのように歴史を繋ぐ鐘の音が青空に高らかに鳴り響きました。

しつかりと話を聞く姿勢からは新年度に対する前向きな気持ちを感じられました。また、4月10日(火)には入学式を行いました。新入生105名が加わり、中学校は315名となりました。在校生・教職員一同、感謝と喜びを胸に新年度を始めることができました。1年生は入学から約2か月が経過し、通学や部活動、授業にも少しずつ慣れてきたようです。中学校では英語で職員室の入退出を行っています。1年生も早速、習いたての英語を使っています。たどたどしくも懸命にがんばる姿が微笑ましく、失敗を恐れず積極的に取り組む姿勢は頼もしくもあります。今後ますますの成長が楽しみです。

在校生・新入生共に、新校舎での学びの日々はとて新鮮です。先輩方が作り上げてくださった長い伝統を継承し、この新校舎でも素晴らしい九州学院の歴史をつくっていくことを目指しています。



新校舎での学びの日々はとて新鮮です。先輩方が作り上げてくださった長い伝統を継承し、この新校舎でも素晴らしい九州学院の歴史をつくっていくことを目指しています。



- (中学校)学友会活動成績**
(1月8日) (5月13日)
- 柔道部
 - 県中学校柔道団体優勝大会 (2月18日)
 - 山鹿市総合体育館
 - 男子団体 1位
 - 女子団体 3位
 - 平成30年度県中学校柔道団体別選手権大会 (4月29日)
 - 山鹿市総合体育館
 - 男子個人90kg超級 1位 益田 龍真(3年)
 - 2位 濱崎 愛蔵(3年)
 - 3位 牧野 泰成(2年)
 - 男子個人90kg級 1位 田中 愛斗(3年)
 - 弓道部
 - 第13回八代市杯弓道大会 (3月21日)
 - 八代市営弓道場
 - 男子個人 永人(2年)
 - 石田銀士郎(1年)
 - 石田 諒(1年)
 - 熊本市植木弓道場
 - 男子個人 3位 森上野北里(3年)

- 剣道部
 - 道場連盟学年別個人 (1月27日)
 - 山鹿市総合体育館
 - 3年の部
 - 1位 坂本 陸(3年)
 - 2位 荒木 京介(3年)
 - 3位 平尾 尚武(3年)
 - 2年の部
 - 1位 田中 兆(2年)
 - 2位 荻野 雅貴(2年)
 - 3位 鮫島 雅貴(2年)
 - 1年の部
 - 1位 河野 颯斗(1年)
 - 2位 福岡 勇馬(1年)
 - 3位 小田 諒(1年)
 - 白龍旗九州選抜大会 (2月17・18日)
 - 菊池市総合体育館
 - 団体 1位 熊本市新人戦 (3月3日)
 - 菊池市総合体育館
 - 1位の部
 - 1位 末永 英大(3年)
 - 2位 鮫島 雅貴(3年)
 - 3位 米澤 一郎(3年)
 - 2位の部
 - 1位 末永 英大(3年)
 - 2位 鮫島 雅貴(3年)
 - 3位 米澤 一郎(3年)

- 水泳部
 - 第4回桜島カップ (4月7日・8日)
 - 鴨池公園水泳プール
 - (男子)
 - 50m自由形 5位 三井 隆太(1年)
 - 100m自由形 5位 三井 隆太(1年)
 - 200m自由形 5位 三井 隆太(1年)
 - 400m自由形 4位 三井 隆太(1年)
 - 800m自由形 8位 鈴木 煌(1年)
 - 1000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 1500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 2000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 2500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 3000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 3500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 4000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 4500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 5000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 5500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 6000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 6500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 7000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 7500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 8000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 8500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 9000m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 9500m自由形 8位 三井 隆太(1年)
 - 10000m自由形 8位 三井 隆太(1年)

